



おおの 大野

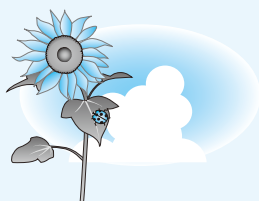
ひろし 寛

しんわかい 津和会

### 市町村設置型合併浄化槽について

**問** 今回、生活排水に関する事項は下水道部に所管が一本化された。

一本化された中での、生活排水処理アクションプログラムにおける市町村設置型合併浄化槽の概要について伺う。



**答** 生活排水処理アクションプログラムで浄化槽区域とした地域については、市町村設置型として市が新たに設置し維持管理を行う浄化槽と、既存の浄化槽を市に帰属を受け維持管理を行う浄化槽の二通りの手法により整備を進めることとした。

現在、浄化槽の敷地についての無償借地、新設浄化槽設置工事に伴う内容整理、既存浄化槽の帰属に伴う問題点の整理、使用料の算定基準、負担金徴収設定などの課題についての検討を進めている。

また、配管や埋管部分についても、市が携わることにより、放流先や土地の問題も解消できると考えており、市町村設置型浄化槽区域を全域に広げる効果はあると考えている。

### ●その他の質疑・質問●

○津市の目指す小中一貫教育の形態について、施設一体型、分離型、その他型、こういった形態を目指しているのか。また、その手法はどういったものか基本理念について

○津市職員定数条例で2,500人体制とした根拠について

○定数外職員の内容について

○農業用地及び農業施設に係る課税について など



▲生活排水、下水道に関することは下水道部で



いわき 岩脇 圭一

いっしんかい 一津会

### 新型インフルエンザ等対策本部条例について

**問** 新型インフルエンザ発生時において、40%の職員が感染で出勤できなくなる可能性があり、市民は市の業務継続に大変不安を抱くと思う。市として平成21年度に業務継続計画を策定しているが3年以上経過し、人事異動などもあって本当に機能するのか見直す必要があるのではないか。また、発生時を想定した訓練を行うべきと考えるが、そのような予定はあるか。

**答** 今後、国・県における新型インフルエンザ等の対策に係る行動計画の策定を踏まえた上で、本市の新たな行動計画を早急に策定し、その行動計画に基づき、平成21年度に作成した業務継続計画を見直していく。

現在、各部に業務継続計画等を見直すよう通知しており、新たな行動計画の作成とあわせ、再度徹底していく考えで進めている。

発生時を想定した訓練については、今のところ訓練方法も含めて具体的な予定はないが、行動計画や業務継続計画を見直す中で職員の出勤状況等をシミュレーションし、訓練を繰り返すことは必要であると考えていることから、今後、行動計画を作成していく中で実施に向けて作業を進めていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

○スポーツ施設の管理について

・ソフト面での取り組み充実を

・施設整備に関する各種競技団体とのコミュニケーションは

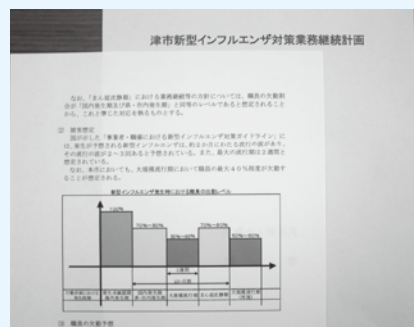
・各種競技の大会誘致強化を

○風疹予防接種への費用助成を

○地産地消に向けた取り組みは

○市産材の利用促進策は

○スマートフォン等を活用した新たな公共サービスの研究、実証実験を など



▲新型インフルエンザ発生時の危機管理体制を